

第 57 回上越地区中学校剣道大会

兼 第 48 回新潟県中学校総合体育大会上越地区予選会 要項

- 1 主 催 新潟県中学校体育連盟 上越地区中学校体育連盟
- 2 共 催 上越市教育委員会
- 3 主 管 上越地区中学校体育連盟
- 4 後 援 上越市 (一財) 上越市体育協会 上越市剣道連盟 全上越剣道連盟
- 5 期 日 平成 29 年 7 月 5 日 (水)・6 日 (木)
- 6 日 程

〈第 1 日〉	会場開門	7 : 30
	代表者・役員打合せ	8 : 30
	開会式	9 : 10
	競技開始 (団体戦)	9 : 50
	競技終了	15 : 30
	表彰	
〈第 2 日〉	会場開門	7 : 30
	代表者・役員打合せ	8 : 30
	開始式	9 : 10
	競技開始 (個人戦)	9 : 30
	閉会式	15 : 30
- 7 競技会場 上越市浦川原体育館
〒942-0316 新潟県上越市浦川原区六日町 152 TEL025-599-2356
- 8 競技種目 団体戦 (男女) 個人戦 (男女)
- 9 競技規則 本要項にない事項は、全日本剣道連盟制定の剣道試合審判規則並びに試合審判細則に準ずる。
- 10 競技方法

(1) 試合場	10M × 10M	4コート使用
(2) 試合時間	団体戦	3分間3本勝負 延長2分1回 (予選リーグはなし)
		勝敗が決定した時点から延長なし。
	個人戦	3分間3本勝負 勝敗の決するまで行う。
(3) 審判員	3人制とする。	
(4) 出場順	選手申込書の順とし、申込み締切り以後の変更は認めない。	
(5) 選手・補員の補充	①申込み締切り後、選手または補員に欠員が生じた場合は、第1日目の代表者会議にその理由を申し出て補充することができる。(理由によっては認められないこともある。)	
	補員の補充については、第1日目の代表者会議で申し出た者のみ認める。	
	②選手に欠員が生じた場合は、登録された補員をもって、補充しなければならない。	
	③選手に代わって補員が出場した時は、もとの選手は最後まで出場することができない。	
	④補員を使いきった後に、選手に欠員が生じた場合は、その対戦は不戦敗 (2本負け) となる。	
(6) 試合方法	〈団体戦〉	
	①参加チームをブロックに分け、予選リーグを行う。	

②予選リーグ各ブロック上位チーム（2チーム）を決勝トーナメントで行う。

《個人戦》

トーナメント方式で行う。

- (7) 勝敗決定
- ①予選リーグでは、勝者数・総本数の順で決定するが、いずれも同数の場合は引き分けとする。
 - ②決勝トーナメントでは、勝者数・総本数の順で決定するが、いずれも同数の場合は、代表者戦（3分間1本勝負、延長は勝負のつくまで）を行う。
- (8) 順位決勝点（定 予選リーグの順位は次の順で決定する。）
- ①勝ち－1、引分け－0、5 負け－0)
 - ②勝者数
 - ③総本数
 - ④代表者戦（同率3校 3分3本勝負・延長2分のリーグ戦。試合順は予選リーグの試合順と同様とし、それぞれの試合で選手を変更ができる。）
（同率2校 3分間1本勝負・延長無制限代表戦）

11 参加資格 当該校校長が参加を承認した生徒

- (1) 団体戦…1校1チームで、フリー参加とする。
- (2) 個人戦…**①1校8名以内（シード選手を除く）**
②上越中学校合同大会でベスト16に入った選手。

12 表彰

- (1) 団体優勝チームにカップを上位4チームに賞状を授与する。また、登録選手には個人賞を授与する。
- (2) 個人戦優勝者にトロフィーを上位8名に賞状を授与する。

13 申込み

- (1) 県中体連ホームページより所定の様式をダウンロードして使用する。
- (2) 申込先；〒942-0041 上越市安江282-1 上越市立直江津東中学校内
上越地区中学校剣道大会事務局 宛 E-mail：satoyasu@jorne.or.jp
※返信用封筒（長三封筒）を添えてお願いします。（92円切手貼付、宛名記入のこと）
- (3) 申込〆切； 6月16日（金） 16:30 **電子データをメールで申し込む。**
職印を押印した申込書を6月20日（火）までに提出すること。
- (4) 参加料；登録選手、一人550円（大会1日目、受付時に納入のこと。）

14 組合せ 上越地区剣道専門部員が行う。

団体戦；ホームページにアップする。個人戦；返信用封筒に入れて送付する。

15 新潟県中体連剣道専門部申し合わせ

- (1) 試合規則・審判規則・試合運営に関すること
 - ①サポーター（足袋、テーピング、コルセットを含む）
 - ・医療上必要と認めた場合に限り使用を認める。使用する場合は届け出た上で、使用する。
 - ・サポーター等は、肘、膝などにつける物を足につけたり、ゴムや革及び滑り止めを底に張った物の使用は禁止する。
 - ・指先単独でのテーピングは届け出不要とする。
 - ・届け出と違う物を使用した場合は、替えさせる。
 - ②面金（ブラック）について
面金を黒塗りにした面など、通常の配色でない面の使用を禁止する。ただし、日常の稽古や練習試合での使用については特に制限を設けない。
 - ③竹刀について
 - ・不正竹刀を使用した場合は、発見した時点でその選手の負けとする。既得本数は認めない。以下の試合は欠員のまま試合をする。（ただし、予選リーグから決勝トーナメントに進んだ時は、補員の出場を認める。）不正竹刀とは、「ビニールやセロテープをまいた竹刀」「異物を挿入した竹

刀（異物とは先革のゴム、柄頭のちぎり、鉄片以外の物）」「検印のない竹刀」を指す。

- ・竹刀の検量を行う。次の基準による。

	性別	中学生	性別	中学生
長さ	男女共通	114cm以下		
重さ	男子	440g以上	女子	400g以上
太さ	男子	25mm以上	女子	24mm以上

○竹刀先革の長さは50mm以上とする。

○滑り止めのついた柄は使用しない。

- ④安易に左拳を中心から外す防御姿勢をとらせない。

「変形な構えなどの防御姿勢」をとった場合は、1回目は「合議」の上「指導」。2回目以降は「合議」の上、「反則」とする。

- ⑤つばについて ・革色または白色、直径9cm以下のものを使用する。それ以外の鏢を使用した場合は、その場で替えさせる。

- ⑥つるについて ・つるの色は白または黄色が望ましい。

- ⑦剣道具装着について

- ・剣道着、袴への校名や校章の刺繍は、大きさや色を含め華美にならないように配慮する。
- ・面紐の長さは結び目より40cm以内とし、色は赤系統など華美な色は禁止する。
- ・たすきは、幅5cm・長さ70cmのものを着用する。
- ・選手の名札は（〇〇中 姓）を着用する。着用していない選手は出場を認めない。

- ⑧突き技について ・禁止とし反則とする。

- ⑨上段について ・上段の構えをとらせない。身体上の理由があればその都度協議する。

- ⑩片手打ち ・有効としない。

- ⑪二刀について ・使用させない。

- ⑫試合開始 ・主審の「始め」の合図で完全に立ち上がって開始する。

- ⑬試合場について ・役員、審判員、監督、コーチ、マネージャー、選手、補員以外は試合場に入れない。

- ⑭観戦・応援について

- ・団体戦での先鋒・大将戦は監督・選手共に選手席で正座して観戦する。個人戦における監督も同じとする。
- ・選手交代の際の余計な動作（握手・胸突き）は禁止とする。
- ・試合場内で、円陣でのパフォーマンスや団体での礼の際のパフォーマンスは禁止とする。
- ・選手席への時計の持ち込み、サイン等の指示や試合者への声援はしてはならない。応援は拍手のみとする。
- ・試合場内への応援旗、部旗、その他試合に関係のない物の持ち込みは禁止とする。

- ⑮勝敗が決するまで行う延長戦においては、健全安全の配慮により15分を目安に3分ほどの休憩を設ける。その際必要に応じて目立たない場所での給水を認める。

（15分・3分の時間は原則である。選手の状況を見て審判主任・主審が判断する。）

- (2) 監督・コーチの服装について

白ワイシャツ、グレー（無地）ズボン又はスカート、エンジのネクタイ、紺か黒の靴下とする。

- (3) 保護者・外部指導者の引率による個人戦の参加については、県の特例に準ずる。

- (4) 県総体に出場する時に次の書類などを準備し、持参すること。

- ①県大会申込書（校長職印を押印したもの）
- ②県大会参加料納付書（責任者の私印を押印したもの）
- ③県大会参加料 登録選手1名につき900円
- ④返信用封筒（92円切手貼付・宛名明記したもの）
- ⑤宿泊申込書（責任者の私印を押印したもの）

- (5) 本大会に関する問い合わせ先

上越地区中体連剣道競技専門部長 佐藤 泰之
上越市立直江津東中学校 上越市安江 282-1
TEL 025(543)2729 FAX 025(543)4150